

1. 科目名 (単位数)	国際社会理解入門 (2 単位)		3. 科目番号	EIIE2101
2. 授業担当教員	越野 香子			
4. 授業形態	講義、グループ議論、発表	5. 開講学期	春期	
6. 履修条件・他科目との関係	国際教育コース2年必修			
7. 講義概要	国際社会とは何か。国家間や多文化に生じる問題を理解するには、どのような視点が必要なのでしょうか。この講義では、「国民」とはだれか、「移民」と「難民」の境界線は何なのか、国境を越えて維持される家族は増加し、文化的価値観や言語がメディアや SNS を通じて拡散されることは何を意味するのかということを考えていきます。また、これらの「国境を越えた社会現象についてのテーマ」を基に、文献や映像に触れながら、講義、議論そして発表を通して理解を深め考えていくことを目的としています。			
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「国際社会」を形成する要因について理解を深め、説明できる。 2. 国際社会問題について多角的な視点から捉えることができる。 3. 議論を用いて、効果的に問題の解決法等を導き出すことができる。 4. 発表を通して、関心のあるテーマについて効果的に他者に説明できる。 			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	毎週、一つのテーマについて議論が行われるが、それについて課題が設定される。議論と発表が主な評価の対象となる。			
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 三成美保・姫岡とし子・小浜正子著 『歴史を読み替える ジェンダーから見た世界史』大月書店、2018。			
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 以下の点が達成されたかを基準とし、評価される。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 「国際社会」を形成する要因について理解を深め、説明できるようになったか。 2. 国際社会問題について多角的な視点から捉えることができるようになったか。 3. 議論を用いて、他者と効果的に問題の解決法等を導き出すことができるようになったか。 4. 発表を通して、関心のあるテーマについて効果的に他者に説明できるようになったか。 ○評定方法 成績評価の基準 1～4 についての達成度を照合しながら、以下の点を総合的に評価する。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 全体的な授業への参加意欲・態度 (30%) 2. 議論や共同作業への貢献 (30%) 3. 課題提出 (40%) なお、本学規定により、3/4 以上(4 回)の出席が確認できない場合は、単位の修得が認められないので留意しておくこと。			
12. 受講生へのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. シラバスを熟読し、講義の学習目標、成績評価等についてよく把握しておくこと。 2. iphone, smartphone, 携帯電話, その他通信機能のあるノートパソコンやタブレットの電源は切り、かばんの中にしまうこと。 3. 本学規定により、3/4 (4 回) 以上欠席すると単位の修得が認められないので留意しておくこと (遅延については、遅延証明書を当日又は次回講義までに担当教員に提出すること。遅延の累計回数が多い場合、遅延を認めない場合もあるため、注意すること)。 4. 成績総合評価の内、授業での積極的参加は比重が大きいため、分からないことは積極的に質問し、ディスカッションにも意欲を持って臨むことを勧める。 5. 不正行為への対応等について、本学は、「東京福祉大学・短期大学部 研究活動における不正行為への対応等に関する規程」を平成 26 年 12 月 4 日に制定しています。詳しくは、本学ホームページの大学紹介・研究活動のところを参照してください。また、文部科学省のガイドラインでは、「学生に対する研究倫理教育」を行うことが要請されています。皆さんは、大学で自分の学習成果をレポートにしたり発表したりしていくうえでの倫理、つまり、守らなければならない事があります。不正行為としては、<u>1. 捏造(ねつぞう)</u>、<u>2. 改ざん</u>、<u>3. 盗用</u>があります。不正行為については、適宜、処置がなされるので、これらについて十分に注意をして、勉学に臨んでください。 			
13. オフィスアワー	授業時に通知する			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第 1 回	1 章 ジェンダーの視点から見る国際社会	事前学習	教科書を購入し、pp. 2～28 を読んでおく。	
		事後学習	シラバスをよく読み、不明な点は次の授業で質問するよう備えておく。	
第 2 回	2 章 古代ローマの共和政と家父長制	事前学習	教科書 pp. 32～46 を読み、授業中に提示された質問に対して答えられるよう準備しておく。	
		事後学習	授業で議論された内容を顧み、何を学んだか、まだわからないことについて、ノートにまとめる。	

第3回	3章 アジア・アフリカ・アメリカの古代文明における性別分業、親族組織、宗教・宇宙観	事前学習	教科書 pp. 50～60 を読み、議論に備えておく。
		事後学習	議論中書き止めたメモを参考にしながら、理解したこと、まだ分からないことを、ノートにまとめる。
第4回	4章 東アジアにおける貴族制社会の女性と農耕社会における母権	事前学習	教科書 pp. 64～72 を読み、議論に備えておく。また、次回の授業は、これまでの授業でまだ分からないことや解決していないことについて、質問をすることから始めるので、質問等をまとめておく。
		事後学習	授業で議論された内容を顧み、何を学んだか、まだわからないことについて、ノートにまとめる。
第5回	5章 イスラーム社会と家父長制と婚姻と家族をめぐる法	事前学習	教科書 pp. 76～82 を読み、授業中に提示された質問に対して答えられるよう準備をしておく。
		事後学習	授業で議論された内容を顧み、何を学んだか、まだわからないことについて、ノートにまとめる。
第6回	6章 中世ヨーロッパの女性知識人と大学	事前学習	教科書 pp. 86～106 を読み、議論に備えておく
		事後学習	議論中書き止めたメモを参考にしながら、理解したこと、まだ分からないことを、ノートにまとめる。
第7回	7章 モンゴル帝国の皇后とチンギス家の婚姻戦略	事前学習	教科書 pp. 100～124 を読み、議論に備えておく。また、次回の授業は、これまでの授業でまだ分からないことや解決していないことについて、質問をすることから始めるので、質問等をまとめておく。
		事後学習	議論中書き止めたメモを参考にしながら、理解したこと、まだ分からないことを、ノートにまとめる。
第8回	8章 宗教改革とセクシュアリティ管理の強化	事前学習	教科書 pp. 128～140 を読み、授業中に提示された質問に対して答えられるよう準備をしておく。
		事後学習	授業で議論された内容を顧み、何を学んだか、まだわからないことについて、ノートにまとめる。
第9回	9章 大西洋奴隷貿易のなかのジェンダー	事前学習	教科書 pp. 146～158 を読み、議論に備えておく。また、次回の授業は、これまでの授業でまだ分からないことや解決していないことについて、質問をすることから始めるので、質問等をまとめておく。
		事後学習	議論中書き止めたメモを参考にしながら、理解したこと、まだ分からないことを、ノートにまとめる。
第10回	10章 社会主義・共産主義思想と女性	事前学習	教科書 pp. 162～182 を読み、授業中に提示された質問に対して答えられるよう準備をしておく。
		事後学習	議論中書き止めたメモを参考にしながら、理解したこと、まだ分からないことを、ノートにまとめる。
第11回	11章 軍隊とジェンダー	事前学習	教科書 pp. 186～208 を読み、議論に備えておく。
		事後学習	授業で議論された内容を顧み、何を学んだか、まだわからないことについて、ノートにまとめる。
第12回	12章 近代インドにおける社会改革と民族運動	事前学習	教科書 pp. 212～226 を読み、議論に備えておく。また、次回の授業は、これまでの授業でまだ分からないことや解決していないことについて、質問をすることから始めるので、質問等をまとめておく。
		事後学習	議論中書き止めたメモを参考にしながら、理解したこと、まだ分からないことを、ノートにまとめる。
第13回	13章 朝鮮の植民地化―「新女性」から「慰安婦」まで	事前学習	教科書 pp. 230～252 を読み、授業中に提示された質問に対して答えられるよう準備をしておく。
		事後学習	議論中書き止めたメモを参考にしながら、理解したこと、まだ分からないことを、ノートにまとめる。
第14回	14章 アフリカの独立と女性	事前学習	教科書 pp. 256～272 を読み、授業中に提示された質問に対して答えられるよう準備をしておく。
		事後学習	意見交換で出された意見について、今後、教育分野でどのように生かしていけるか自分なりの考えをまとめる。
第15回	15章 性の自由と家族の多様化	事前学習	教科書 pp. 276～294 を読み、授業中に提示された質問に対して答えられるよう準備をしておく。
		事後学習	発表について、クラスメートから出されたコメントを基に、発表スキルや内容について良かった点を確認し、また今後どのように進歩していけるか自分なりに考えをまとめる。